



剪定枝をチップにしてみましょう♪

- (1) 機械を使用する前に、危険防止のため貸出しするゴーグル、手袋を必ず身につけてください。

* 軍手は枝と一緒に機械に引き込まれる危険がありますので必ず貸出しする手袋を着用してください。



- (2) 機械の電源を入れて、剪定した枝を入れます。入れる際には投入口の右側に寄せて入れてください。投入できる木の太さは、最大直径35ミリまでです。
! 処理能力を超えた太さの木や竹、ツル、堅い木は故障の原因となるため投入しないでください。



用途によって適さない樹木もあります

- 毒素があるため肥料化・チップ化に適さないもの
キョウチクトウ、あせび、うるしなど
- 微生物にとって分解が困難で発酵を抑制するため肥料化に適さないもの
竹、笹、シュロなど

- (3) 枝木を投入口に入れると、引き込まれながら粉碎されます。

! 枝が多くついている物は詰まりやすいので、少し枝を払ってから投入してください。



- (4) 手でも簡単に折れるような直径1センチくらいの細い枝は、何本か一握りにまとめて投入した方がきれいに粉碎できます。

! 特に細い枝は手にまとわりつきやすいので枝と一緒に手を機械に引き込まれないよう注意してください。



- (5) チップ化したものはごみとして排出せず、土壌改良材などにお使いください。





チップ活用法 あれこれ♪



たい肥の原材料

チップ材を芝生の刈り草や雑草を抜いたものなどと混ぜて分解・発酵させ、たい肥にすることができます。よく乾かした生ごみと混ぜても使えます。



マルチング（根覆い）材

土の表面や株元を覆うことを「マルチング」と言います。マルチングに使用する資材のビニールフィルムやポリフィルム、自然素材のわらなどの代用品としてチップを活用することができます。

マルチングの効果

- (1) 土の乾燥防止や温度変化を緩和する
表面を覆うことで、土の水分の蒸散を妨げ乾燥を緩和すると同時に、急激な温度変化も緩和されるため、根にとっては快適な環境が保てます。
- (2) 降雨時の土の跳ね返りを抑えて、病気の発生を防ぐ
土中に生存している病原菌が降雨時の跳ね上がりによって茎葉に付着し、感染します。マルチングで跳ね上りを抑えることで、病気予防の効果があります。
- (3) 土の舞い上がりを防止
乾燥した土が風で舞い上がると、眼の中に入ったり、家の中に入ってザラザラして困ることが…散策路の舗装材に利用するのも1つの方法です。
- (4) 雑草の発生を抑制する
マルチングした表面はすぐに乾くため、飛来した雑草の種子は水分が乏しくなり発芽が抑えられます。発生してしまった雑草も、抜きやすいため管理が楽になります。



お問い合わせ

川西市 美化推進課

川西市丸山台3丁目43番地 電話：740-1124